

伊藤仁弥

ITO, Yoshiya



ご専門：循環器領域（不整脈、虚血）

読者へ：現在、不整脈を中心とした循環器業務をおもに行っています。今号では、新人教育に関して、私自身の経験を基に執筆させていただきました。教育は終わりのないテーマだと感じており、私自身、日々学ぶことばかりです。本稿が少しでも皆様の参考になれば幸いです。

百瀬直樹

MOMOSE, Naoki



ご専門：体外循環，補助循環，ものづくり

読者へ：臨床工学技士はさまざまな臨床の場面で活躍できる職種です。したがって、他のセクションの医療者との接点も多く、まさにチーム医療の要となります。読者の皆さんもそれぞれの立場から、最終的には病める患者のため、そして医学の進歩のためご活躍ください。

山田紀昭

YAMADA, Noriaki



ご専門：インストラクショナル・デザイン，医療機器安全管理

読者へ：人を育成していくのは、容易なことではありません。根気強く人の成長を支援していきましょう。「国家百年の計は教育にあり」人材育成は、次世代へ人材を残すことでもあります。すてきな医療人の成長を楽しみながら、ともに学び合っていきましょう！

中島章夫

NAKAJIMA, Akio



ご専門：レーザ医学応用，赤外線凝固装置開発，医療電磁波環境調査

読者へ：今後の医療を担っていく臨床工学技士の卵「学生」にはさまざまな素養が求められますが、そのなかでも「傾聴」と「提案」が、コミュニケーションを醸成させるために必要な素養だと考える今日この頃です。この特集を通して感じたこと、ご質問があれば、メールをいただければ幸いです。

藤井清孝

FUJII, Kiyotaka



ご専門：院内電波環境，ユーザビリティ，医療機器標準化

読者へ：新人時代に受ける教育は、新人の未来に大きな影響を与えます。一方で、新人指導は決して容易ではありません。なぜうまくいかないのか。今号では、社会情勢の変化と当院の現状を照らし合わせた一例をご紹介します。新人指導を実践されている皆様の一助になれば幸いです。

【特集】

現代の若年層に 合わせた 育成法を考える